



Doctor's Introduction

耳原総合病院医師紹介

整形外科 吉岡 篤志

よしおか あつし



整形外科

初めまして、耳原総合病院整形外科の吉岡篤志です。4月より耳原総合病院に勤務し、診療しております。2005年大阪医大卒業後、大阪民医連での各診療科を回るローテーション研修を行い医師としての基礎を築きました。耳原総合病院整形外科をさらに発展させるべく、合計3年間の整形外科外部研修を、京都民医連中央病院、浜松の聖隷三方原病院、神戸のあんしんクリニックにて行いました。

京都民医連中央病院では、一般外傷、脊椎、人工関節、肩・膝関節鏡など幅広い研修を行いました。特に年間300件程の脊椎手術が行われ、腰椎後方除圧、固定、頸椎後方除圧、前方除圧固定など顕微鏡を使用しての低侵襲手術を学びました。

聖隷三方原病院では、交通外傷、人工膝・股関節、脊椎固定術、あんしんクリニックでは、低侵襲の人工膝・股関節、一般整形外来(肩、膝、スポーツ整形)を学びました。

3年間の研修で多くの疾患を学ぶことができ、外傷、脊椎、人工関節の執刀も数多く経験することができました。

2011年4月から耳原総合病院に帰院し、整形外科診療を開始しております。整形外科におけるcommon diseaseを高いレベルで治療・診療を行うことを目指し、患者様の話を丁寧に聞き、治療法を提案させていただきます。当院で治療が困難な場合はより専門的な施設に迅速に紹介し、診断、治療の流れをスムーズに行っていくよう診療していきます。

長くなりましたが、体力には自信がありますので、全力で頑張っていきたいと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

【訂正】ぱとあ110号に掲載の外科部長の氏名が間違っておりました。正しくは、山口拓也です。

耳原総合病院 地域医療課

直通電話 072-241-0324

直通FAX 072-241-0208

- 「診察・入院申込書」「検査申込書」をFAXいただくか、お電話でご予約をお取りいたします。
※折り返しFAXにて予約票をお送り致します。
- 予約当日、患者様が受診の際にご持参いただくもの
①保険証、②診療情報提供書、③上記予約票
※上記の3点をご持参いただくよう、患者様にお伝えください。



vol.111
ぱとあ
(7月号)

2011年7月10日発行

■発行人/松本 久 ■発行/社会医療法人 同仁会 耳原総合病院 地域医療課
〒590-8505 大阪府堺市堺区協和町4丁465番地

TEL 072-241-0501 (代表) TEL 072-241-0324 (直通)

URL <http://www.mimihara.or.jp/sogo/>

耳原総合病院の基本方針は「すべての方に24時間365日、質の高い医療を地域と共に提供し続けること」です

耳原総合病院機関紙

VOL. 111
2011.7.JULY

耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています

- ♥安全、安心、信頼の医療
- ♥無差別、平等の医療
- ♥患者負担の少ない医療
- ♥地域とともに歩む専門職の育成



耳原ライフサポート委員会の取り組み

耳原ライフサポート委員会は、救命処置方法の普及及び統一化を図る目的で2002年より発足し、現在では医師、看護師、救急救命士だけでなく、コメディカル、一般市民や学生を対象にBLSコースやACLSコースを開催し、よりたくさんの人に救命処置を知ってもらおうと活動しています。



第41回耳原総合病院 二次救命処置コース開催

2011年6月19日(日)に耳原高砂クリニックにて、第41回耳原総合病院二次救命処置コースが開催され、院内外合わせて40名のインストラクターが参加しました。受講生は18人3ブース構成で医師、看護師だけでなくコメディカルの参加もありました。

今回のコースでは、5年ぶりに改訂された救急蘇生のガイドライン「JRC2010」に準拠した内容で行い、院内で何度も学習会を開き、本番に挑みました。

新ガイドラインは、JRC2005よりもさらに「胸骨圧迫」に重点をおいています。医療従事者だけでなく、一般市民にも簡単にわかりやすく心肺蘇生が行えるような内容になっています。



BLSブース

BLSブースでは、受講生全員が1フロアに集まり、一次救命処置を学びます。「反応がありません!」19番通報お願いします!人を集めてください!AEDを持ってきてください!と救急システムの起動から胸骨圧迫、人工呼吸まで実践していきます。

